

© International Baccalaureate Organization 2021

All rights reserved. No part of this product may be reproduced in any form or by any electronic or mechanical means, including information storage and retrieval systems, without the prior written permission from the IB. Additionally, the license tied with this product prohibits use of any selected files or extracts from this product. Use by third parties, including but not limited to publishers, private teachers, tutoring or study services, preparatory schools, vendors operating curriculum mapping services or teacher resource digital platforms and app developers, whether fee-covered or not, is prohibited and is a criminal offense.

More information on how to request written permission in the form of a license can be obtained from <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

© Organisation du Baccalauréat International 2021

Tous droits réservés. Aucune partie de ce produit ne peut être reproduite sous quelque forme ni par quelque moyen que ce soit, électronique ou mécanique, y compris des systèmes de stockage et de récupération d'informations, sans l'autorisation écrite préalable de l'IB. De plus, la licence associée à ce produit interdit toute utilisation de tout fichier ou extrait sélectionné dans ce produit. L'utilisation par des tiers, y compris, sans toutefois s'y limiter, des éditeurs, des professeurs particuliers, des services de tutorat ou d'aide aux études, des établissements de préparation à l'enseignement supérieur, des fournisseurs de services de planification des programmes d'études, des gestionnaires de plateformes pédagogiques en ligne, et des développeurs d'applications, moyennant paiement ou non, est interdite et constitue une infraction pénale.

Pour plus d'informations sur la procédure à suivre pour obtenir une autorisation écrite sous la forme d'une licence, rendez-vous à l'adresse <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

© Organización del Bachillerato Internacional, 2021

Todos los derechos reservados. No se podrá reproducir ninguna parte de este producto de ninguna forma ni por ningún medio electrónico o mecánico, incluidos los sistemas de almacenamiento y recuperación de información, sin la previa autorización por escrito del IB. Además, la licencia vinculada a este producto prohíbe el uso de todo archivo o fragmento seleccionado de este producto. El uso por parte de terceros —lo que incluye, a título enunciativo, editoriales, profesores particulares, servicios de apoyo académico o ayuda para el estudio, colegios preparatorios, desarrolladores de aplicaciones y entidades que presten servicios de planificación curricular u ofrezcan recursos para docentes mediante plataformas digitales—, ya sea incluido en tasas o no, está prohibido y constituye un delito.

En este enlace encontrará más información sobre cómo solicitar una autorización por escrito en forma de licencia: <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

Japanese B – Higher level – Paper 2 – Reading comprehension
Japonais B – Niveau supérieur – Épreuve 2 – Compréhension écrite
Japonés B – Nivel Superior – Prueba 2 – Comprensión de lectura

Thursday 29 April 2021 (afternoon)

Jeudi 29 avril 2021 (après-midi)

Jueves 29 de abril de 2021 (tarde)

1 h

Text booklet – Instructions to candidates

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet accompanies paper 2 reading comprehension.

Livret de textes – Instructions destinées aux candidats

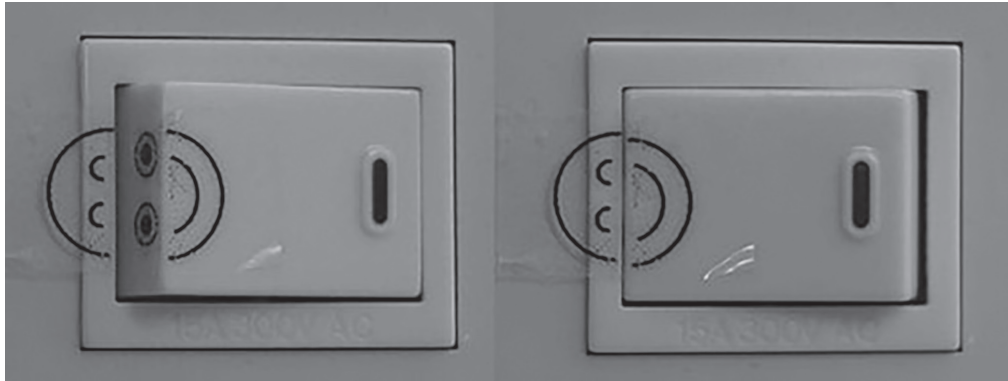
- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret accompagne la partie de l'épreuve 2 portant sur la compréhension écrite.

Cuadernillo de textos – Instrucciones para los alumnos

- No abra este cuadernillo hasta que se lo autoricen.
- Este cuadernillo acompaña a la parte de comprensión de lectura de la prueba 2.

問題 A

温暖化防止へ — かしこい選択「クール・チョイス」



思わず消しちゃう照明スイッチ

みなさんは、「クール・チョイス」を知っていますか。政府が国民に「クール・チョイス」、つまり「かしこい選択」をよびかけています。目的は地球の温暖化をふせぐことです。最近開かれた「クール・チョイス・リーダーズ・アワード」でしょうを取った活動を色々しようかいたします。

- 5 新潟県にある出雲崎小学校の4年生は、特別しょうを取りました。まずクラスの全員で温暖化について勉強して、それから、一人ひとりがアイデアを出しました。相澤さんのアイデアは「雨水の集水口の下に歯車をつける。そして、雨水が下に落ちるときに、その歯車を回す。そして、水力発電と同じように発電をする。」というものでした。長野君は「クール・チョイスをする人にはバスや電車の料金を安くする。そうすれば車に乗る人が
- 10 少なくなるだろう。」と考えました。先生は、「温暖化を地球の問題と考えないで、自分の問題ととらえることが重要です。そうすると、小学生も真剣に考えるようになります。」と話していました。

- 高校生の部では、河村さんとさたけ君の二人がしょうを取りました。二人は、フードデザインの授業で日本のフードロス、つまり食べられるけれどもすてられる食品、に
- 15 ついて勉強しました。そして、自分たちの市でごみになってしまう食料品を調査しました。その結果、新しいアイデアが出ました。アイデアの一つはイラストを使った在庫管理表です。これは家にもうある食材を書きこむことができるので、スーパーでの無駄な
- 20 買い物をなくすための工夫です。また、ケータイをいつも使っている若い世代のために、同じ表をアプリにした「在庫管理アプリ」も考えました。河村さんは、「楽しく環境保護活動に取り組めるように考えたので、多くの人にアイデアを知ってもらいたい。」と話していました。

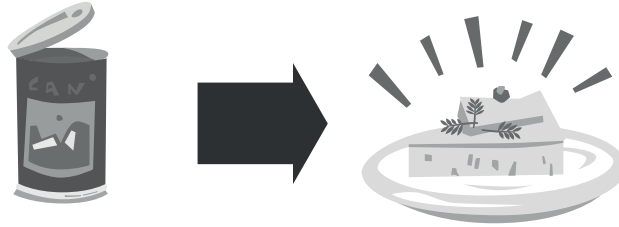
25 宇都宮大学の糸井川先生は、「思わず消しちゃう照明スイッチ」をデザインしました。電気のスイッチをつけると、何かの目にギョロっと見られているようで、落ちつきません。でも、スイッチを切ると笑顔になるので、ついついスイッチを消したくなります。糸井川先生は、「みんなに省エネをよびかけても、なかなか行動につながりません。そこで、スイッチをおすのが楽しいから、おしたくなる、というデザインを考えました。」と説明しました。

30 環境省の増田さんから、おもしろい発言がありました。「冬は、家族の一人ひとりが別々の部屋にいるのではなく、みんながリビングに集まって、『ウォーム・シェア』をすれば、楽しいだけでなく、節電にもなりますよ。これもクール・チョイスの一つです。」

これからも一人ひとりがすずしい、かشこい「クール・チョイス」をするといいでしょう。

問題 B

ごちそう + ぼうさい = ごちぼう



- 1** 東日本大震災以降、家に非常食を備える人が多くなってきました。しかし、せっかく買った食料品の日づけが切れていないか、きちんとかくにんしていますか。また、非常時に、買った食料品で料理を作る自信はありますか。「ごちぼう」とは非常食をごちそうにしてみんなで食べることで非常食を見直し、ぼうさいについての意識を高め、地元社会のきずなを作るプロジェクトです。日本各地で色々なイベントを開いています。
- 2** 例えば、1月16日には千葉県で非常食を使った料理会を開きました。かんパンは被災時の大事な食料だとは分かっているが、決しておいしいとは言えない、と思っている人も多いでしょう。そのかんパンを牛乳につけてやわらかくしてから色々なやさいを上へのせ、その上にまたチーズをおいて、オーブントースターでやくと、おいしく食べることができます。また、長期保存クッキーをコーヒーにひたしてやわらかくしてから、上にクリームチーズや生クリームをまぜてのせると、ティラミスができあがります。参加者からは、「非常食はおなかを満たすことが大事ですが、こんなにおいしくいただけると心も満たされます。」というこえが出ました。また、「ご飯もやさいも一つのなべで作ったので、非常時には助かると思う。あり合わせの物を使って調理する工夫も学んで、役に立った。」という感想もありました。
- 3** また、非常食の保存のしかたについても教育活動を行っています。東日本大震災のときは、「たんすの奥にしまってあったので、いざというときに、取り出せなかった。」「消費期限が切れていて、食べることができなかった。」という人もいたそうです。ですから、「ごちぼう」は「ローリングストック法」を教えています。まず、12食分の非常食を買います。そして、月に一回、一番古い物を使って、料理を作ります。上でしょうかいしたアイデアを使うと、おいしい料理ができるので、普通の食事として食べることができます。そして、非常食をもう一食分買って、保存するのです。そうすれば、一年で12食が全部更新されます。

- 4 2月19日の料理会では「ポップケーキ」を作ってみる実習をしました。ポップケーキはとても簡単に作れますが、子どものほうが作業が速かったり、女性はトッピングをきれいにのせたりと個性が色々出ました。初めて顔を合わせた参加者同士も、おたがいに話したり手伝ったりして、仲良く作っていました。
- 5 非常食をおいしく食べる工夫を教えるだけではなく、食事の場を通して市民間の関係を作っていく「ごちぼう」の活動が、今後も評価されるといいですね。

問題 C

20 本当は、一冊だけ母さんの本を途中まで読んだことがある。男の子が主人公のお話だった。男の子は、ちよつとだけ僕ににっていた。それで僕は、はずかしくなって、やめてしまったのだ。母さんはひそかに僕のことを見ていて、お話の中に書くのかと思うと、ずるいという気もした。

「あら、あたしのお話の子は、絵よりもずっとかっこいいじゃない」

25 と、母さんは言う。それは、そうだ。でも、僕をずっとかっこよくして、あつちとこつちを少し変えて、あとはしおを一ふりくらいすると、お話の中の子どもになるような気もするのだ。そういうのは、やっぱり何だか、はずかしい。でも、僕は母さんがお話を書いてかせいだお金で給食代を出してもらったり服を買ってもらったりしているので、文句は言えない。

三時のおやつの間になったら、母さんが部屋から出てきた。

「つまらないなあ、ご飯を作ってくれる人がいないと」

お茶を飲みながら、母さんはぶつくさ言った。

「別に、中努さんが来てもかまわないよ、僕は」

30 「うん。でもまあ、ふすまの向こうのきんちよう状態が、仕事の間も気になるから、いいや」

「僕は、中努さんとけんかとか、してないよ」

「けんかできれば、簡単なのよ」

『ピゼンクラゲは大型クラゲ』からの一場面

(絵君のお母さんは、中努さんとつき合っています。)

しばらくして、母さんがぼつりと言った。

「父さんとは、今月はもう会ったんだっけ」

「まだ」

「いつ会うの？」

5 「電話が来ないから、よく分からない」

「絵も、大変ね、色々」

大変ね、という、母さんの言葉が、人ごとみたいで、はらが立った。

「何でうちは、みんなのうちみたいじゃないの？」〈中略〉

「何ででしょうね」

10 軽く、母さんは答えた。僕の質問を無視するつもりなのだ。でもまあ、僕のほうだって、イヤミのつもりで聞いているので、どっちもどっちだ。〈中略〉

次の週の土曜日、中努さんは家に来なかった。

家の中がいつもより狭い感じがして、変な気持ちだった。人が多いほうが、家の中は狭い感じになるはずなのに、逆だなんて。

15 母さんは、いつものように「母さんの部屋」にこもって、仕事をしている。母さんの仕事は、本を書くことだ。時々、学校の図書室で母さんの本を読んでいる子がいると、僕はあせる。少しでも自慢じまんな気持ちにもなるけれど、僕は母さんの本は読んだことがないので、感想を聞かれたら困るからだ。

Disclaimer:

Texts used in IB language assessments are taken from authentic, third-party sources. The views expressed within them belong to their individual authors and do not necessarily reflect the views of the IB.

References:

- 問題 A** 沢辺雅俊., 朝日学生新聞社, 2017. 「温暖化防止へ かしこい選択」 『朝日小学生新聞』 26 December. Source adapted.
- 問題 B** ごちそうとぼうさい, 2015. Available at: <http://gochibou.com/> [accessed 3 February 2020]. Source adapted.
- 問題 C** 川上弘美, 2017. 『文学 2017』 東京 : 講談社 .pp. 281–283. Source adapted.